

NPO法人ピアサポートF.A.cafeは食物アレルギーの
治療に頑張る子どもたち・ご家族のピアサポーターです。

わたしたちの活動方針

共に学ぶ / 伝えるを形に / 社会に提案

2020年度の活動内容

講演活動

2020年11月
東京都保健福祉局主催
飲食事業者向けアレルギーオンライン研修会にて講演

2021年2月
専門医による講演会
コロナ禍における食物アレルギーオンライン講演会
(講師:福家辰樹先生)

学会発表

2021年2月
第21回食物アレルギー研究会
一般演題「小学校における食物アレルギー啓発教材の
有用性について」

助成金

令和2年度社会福祉振興助成事業(通常助成事業)WAM
「食物アレルギーの子ども達、学び理解し自らの命を守る」

2020年度第1期ニッポンハム食の未来財団
「医療機関から配布する食物アレルギーサインプレートの
普及活動」

2020年度神奈川子ども未来ファンド
「親子でともに学ぶ食物アレルギーワークショップ」

他団体連携
業務改善

2021年1月~6月
SMBC日興証券とプロボノ連携
(アレルギーキッズビブスの展開方法について協働)

行政連携

令和2~3年度厚生労働省科学研究による
「食物経口負荷試験の標準的思考方法の確立」に参加

令和3~4年度厚生労働省科学研究による
「大規模災害時におけるアレルギー疾患患者の問題の把握
とその解決に向けた研究」に参加

令和3年度厚生労働省科学研究による
「成人食物アレルギー実態調査検討会議」に参加

令和3年度厚生労働省科学研究会による
「都道府県アレルギー疾患医療拠点病院の機能評価指標
に関する研究」研究班会議に参加

応援して下さる仲間を募っています!




F.A. サポーター
想いをかたちに

F.A. サポーター
この活動に賛同し資金面で
ご支援いただける方
・一般賛助会員 (3000円/年)
・医師賛助会員 (5000円/年)



◀ご寄付・ご支援はこちら▶ スマートフォンでQRコードを
読み取るか、PCから下記URL
へアクセスしてください。
<https://www.facafe.org/donation>


F.A. フレンズ
想いがうごかす

F.A. フレンズ
この活動に賛同しボランティアで
ご参加いただける方
・医療研究や行政提案の為の
アンケートご協力
・その他当会運営に必要な
アンケートご協力
・写真モデルやモニター参加
・季刊誌の送付
・イベントのお手伝い



◀登録はこちら▶
<https://www.facafe.org/fafriends>

- Q アレルギー患者でなくてもFAフレンズになれますか?
A もちろんです。すでに除去解除となりアレルギーを卒業された
方のご経験や、アレルギーをお持ちでない方々のご協力こそが
広く社会の啓発に繋がります。
- Q 遠方でも参加することはできますか?
A はい、アンケートやモニターのみのご参加でも構いません。
季刊誌をお送りしますので周りの方へお配りいただくことで
啓発にもつながります。

編集後記

20年度は、患児だけでなくアレルギーのない児童へもアレルギー啓発を進めるために、社会福祉振興助成事業(WAM助成)により、小学校低学年向け啓発教材を制作・配布しました。実際に手に取った親御さんからは「子どもが何度も絵本を読んでいる」「大人にもわかりやすい内容でアレルギーのことがよくわかった」と好評をいただきました。21年度は小学校高学年児童に向けた教材を企画しています。どうぞご期待ください。



Copyrights © 2021 F.A.cafe All Rights Reserved.

企画・編集・発行: NPO法人ピアサポートF.A.cafe
〒251-0052 神奈川県藤沢市藤沢1049
<https://www.facafe.org/>



2021年10月発行

NPO法人ピアサポート F.A.cafe 季刊誌
F.A. CAFE TIMES

Food Allergy 食物アレルギーのこと。
ほっと一息、お茶でも飲みながら話ませんか?

Vol.5
2021
秋

学校で、家庭で。
一緒に学ぼう、
アレルギーのこと。



ピアサポート
F.A.cafe
アレルギー専門のサポート

私たちは医療機関と連携して
小児食物アレルギーの啓発活動を推進しています。



新しくなりました。

医療機関から配る

食物アレルギー サインプレート

監修 今井 孝成 先生

昭和大学 医学部 小児科学講座 教授

食物アレルギーを周囲に伝え、理解を促すツール「サインプレート」は、食物アレルギーの診断を受けた患者さんへ、医療機関を通して無償で配布をお願いします。誤食の防止と、食物アレルギーが不安な方を医療機関への受診に繋げることを目的としています。



アレルゲンのイラストを貼って作るサインプレートですが、「カードにもっと情報を書き込みたい」「子どもと一緒にアレルギーのことを話したい」「大きくなっても持てるようなデザインだと良い」等のご意見をいただいております。もっと広く食物アレルギー患者さんに使ってもらえるよう2020年11月に大幅なリニューアルをしました。食物アレルギー患者さんがサインプレートを手に入れるように、全国のアレルギー中心拠点病院へ1万部発送しました。



また、配布病院の待合室等に貼れるポスターも合わせて制作、患者さんに知ってもらえるよう、啓発をしています。

ここが
変わった!

病院での診断を
親子で振り返る工夫を詰め込みました



“食物アレルギー診断の理解を深めるワーク”が新たに加わり“食べられませんカードを切って貼って作れるクラフト”が一つに。診断を受けたら親子で確認しながら楽しくサインプレートを作れます。

大切な情報をしっかり伝える。
両面三つ折り仕様



子ども・保護者に伝える情報を新たに追加しました。
＜症状かな?と思ったら/救急車を呼ぶ症状＞
中面には個人情報に加えて、薬の情報やエピペン®の有無まで記載できる欄を設けました。

エピペン®イラストが
新たに加まりました



エピペン®の有無を視覚的に伝える「エピペン® イラスト」が新たに加まりました。アレルゲンと一緒に切って貼ることができます。

サインプレートのもらい方

サインプレートは食物アレルギーの診断を受けた患者さんに医療機関から無償で配布しています。

患者さんご家族

紹介チラシをF.A.cafeのウェブサイトから印刷し、かかりつけ医師にご紹介下さい。



サインプレート
紹介用チラシ
PDF

お医者さん・医療関係者

F.A.cafeのウェブサイト「サインプレートお申込フォーム」よりお申込



医療関係者
サインプレート
お申込フォーム

サインプレート受取

1週間前後でお届け。
患者さんに配布

PRO BONO
SMBC NIKKO

SMBC日興証券さんとの プロボノプロジェクト

アレルギー児へ必要な支援を
届けるために。

2021年1月からの半年間、SMBC日興証券の皆様のプロボノ(業務上で培った専門知識やスキルを無償提供する社会貢献活動)のご支援をいただきました。



プロジェクトはアレルギーキッズピブスのマーケティング施策立案。災害時を中心に、アレルギー児の万が一の誤食を守るピブスは、家庭だけでなく教育機関や企業等にも備えていただきたい震災を経験した親の声から生まれたサポートツールです。日興証券の皆様からは、キッズピブスを広めるためのさまざまな施策提案に加えて、私たちを紹介するショートムービーや、ロゴの入ったキッズピブスなど、様々な手法・制作物、アイデアをご提供いただきました。食物アレルギーの子どもたちの為に寄り添ってくださった素敵なチームの皆さまに改めて感謝申し上げます。ご支援いただいた内容をF.A.メンバーが実行に移し、全国の子どもたちへ必要な支援を届けて行けるよう取り組んで参ります。



東京都福祉保健局

東京都 飲食店事業者向け 食物アレルギーオンライン講習会

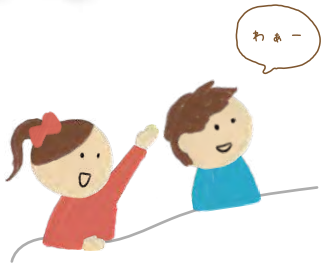
食物アレルギーのある方が安心して
外食を楽しめるように

東京都ではアレルギーを正しく理解、正しく対応するために「東京都アレルギー情報navi.」をはじめとして、様々なアレルギーに関する情報を発信されています。

2020年10月、2021年7月、東京都主催 飲食店事業者向け食物アレルギー講習会にて、当会が講演させていただきました。飲食店が食物アレルギーに関して気をつけることや対策に必要な

知識等を学ぶ本講習会。私たちは、患者保護者の立場から当会に寄せられた多くのアレルギー患者・患者家族の声を代弁し、飲食事業者の皆様へお願いしたいことをオンラインで話しました。聴講者の方々にとって新たな気づきと行動のきっかけになりましたら幸いです。





アレルギー啓発教材

小学校、給食開始の新学期にクラスのお友達で見たいほしいデジタル絵本やマニュアルをつくりました。

この事業は令和2年度独立行政法人福祉医療機構社会福祉振興助成を受けています。



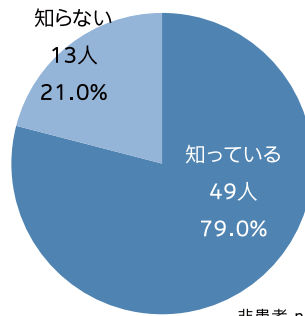
「食物アレルギー」言葉を知らない子が21% (図1)

年少～小学校6年生までの患児、非患児保護者191名にアンケートを実施しました。結果、「食物アレルギー」という言葉を知らない子どもは、21%、そのほとんどが年少～小学校2年生でした。

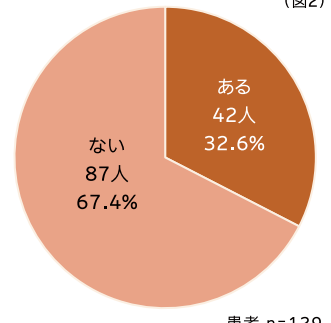
クラスのお友達への理解が進めば、子ども同士が助け合える (図2)

食物アレルギーに関してお友達に助けてもらったことがある患児が32.6%いたことから理解が進めば子ども同士での助け合いができることもわかりました。入学時は、患児親子にとって特に不安な時期です。小学校低学年の給食導入時期に正しく啓発する必要性を感じました。

Q お子様は食物アレルギーという疾患名を知っていますか？ (図1)



Q お子様はクラスのお友達にFAのことで助けてもらったことはありますか？ (図2)



入園・入学時のアレルギーに関するアンケート調査

対象者: 3～12歳のFA患児・非FA児家族 / お子さん1人につき1回答 / 調査方法: WEBアンケート / 調査内容: 園・学校生活における周囲の理解・協力についての調査
全11問(一部子どもへの設問あり、自由記述あり) / 調査期間: 令和2年10月6日～25日(19日間)
回答数: 191件

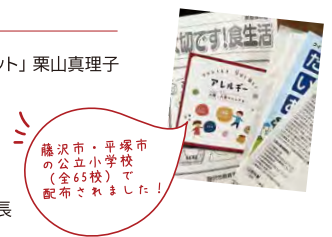


プリンくんと学ぼう語らうアレルギー 入園・入学マニュアル

この冊子は、食物アレルギーがある子ども達と新しく出会うお友達が食物アレルギーのことを一緒に学び、理解しあい、ささえあうために作りました。前半はクラスのお友達と楽しく読んでもらえるよう食物アレルギーのことを絵本にしています。後半は大人たちに知ってもらいたいアレルギーの基本的な情報と、園や学校で注意したいことをまとめました。ご希望の方はHP(右記QRコード)よりお取り寄せできます。



- 発行責任者: NPOアレルギー児を支える全国ネット「アラジーボット」 栗山真理子
- 発行: NPO法人ピアサポートF.A.cafe
- 監修
齋藤博久先生 国立成育医療研究センター研究所長補佐
西間三馨先生 国立病院機構福岡病院名誉院長
福家辰樹先生 国立成育医療研究センター総合アレルギー科医長
- 後援: 藤沢市教育委員会



藤沢市・平塚市の公立小学校(全65校)で配布されました!

食物アレルギー啓発教材セット 低学年

アレルギー専門医、春に教員になる学生、現役教員、アレルギー有無に関わらない多くの保護者とともに食物



アレルギーの子どもたちとクラスメイトと一緒に学べる食物アレルギー啓発教材を作りました。この教材では、食物アレルギーに関する基本的な知識と対策を学ぶことができます。令和3年度、神奈川県藤沢市と平塚市の公立小学校(全65校)に配布しました。今後の展開を検討しています。

活用の場面と例

- 授業や学級指導の場面で、教材単体や組み合わせた利用ができます。
- ・担任による給食のルール説明時に
 - ・栄養士による食育の話と合わせて
 - ・養護教諭による健康の話と合わせて



イラストレーター 山川水輝さん

プリンくんの生みの親、
山川さんにインタビュー！

日頃はどのようなものを描かれていますか？

実は本業はイラストレーターではなく、ビジネスアイデア創出のための発想ワークショップなどを企画・実施する仕事をしています。その中で、グラフィックファシリテーションという、その場で会話されたことをイラストに描きながら司会進行していく手法などを行なっています。

絵はいつごろから描いていますか？

小さな頃から絵を描くのは好きでしたが、どちらかというと工作や粘土など立体の方が好きだったので大学ではプロダクトデザインや建築を学ぶ学科で勉強していました。

どのようなものを描くのが好きですか？

人に状況を伝えるためのシーンを表すイラストを、スピーディーに描くのが得意です。美大出身ではないので、デッサン力には全く自信がないのですが、とにかく早く描いて伝わればいい、という描き方が得意です(笑)

山川さんご自身はアレルギーはありますか？

私自身は食に関しては無縁でしたが、今年4歳になる息子が卵とピーナッツアレルギーがあります。

ご自身の作品を振り返って、読者の皆さんにぜひ見ていただきたい！ というとおきの一枚があれば教えてください。

お友達とおやつの交換を考えながらするシーンは、自分の息子が大きくなった時にもこんな風に一緒に考えてくれるお友達ができたら嬉しいな、と思って描きました。お菓子も美味しそうに描けたのでぜひ見ていただきたいです。

この冊子を手にとる子ども達へメッセージをお願いします。

あたらしいせいかがはじまって、しんばいなことたくさんあるかもしれないけど、いつもまわりには たすけてくれる おとなや おともだちがいます。アレルギーのあるひとも ないひとも、おたがいに たくさん ささえあって なかよくたのしい がっこうのじかんを すごしてくださいね！



ピアサポートでは子どもたちの啓発を目的にイラストを描いていただきましたが、ご自身を振り返ってどのようなお子様でしたか？

いつもケラケラと笑っている楽観的な性格の子供でした。
今もそこはあまり変わっていません(笑)

今回一緒に啓発教材を制作していただいたことで、アレルギーのことで何か大きな発見とか気付きはありましたか？

喘息やアトピーと深い関係があることは知らず、とても勉強になりました。また、人によって程度がここまでさまざまである、ということも知りませんでした。アレルギーの出る食品も本当に多種多様ですね。



プリンくんが動く！ デジタル絵本（動画）は YouTubeでどうぞ



プリンくんシリーズを 手にとって下さった方へ 声

可愛いイラストとサイズ感で、子ども自身がすっきり気に入って読んでました。最後のページのアレルギーサポーター認定証に自分で名前をサインして見せてくれました。(小学2年生(FAなし)保護者)

子どもたちだけでなく、保護者や学校の先生方への説明にも使うことができます。(学校関係者)

絵本もあって、親子で一緒に読めるのがいいですね！(小学1年生(FAあり)保護者)

子どもが動画に釘付けでした。よくある給食のシーンが理解しやすかったようです。(年少(FAあり)保護者)

当事者がNOと言ったら勧めてはダメなことや対処法がイラストで載っていてわかりやすい。知ることは大切です。(小学1年生(FAなし)保護者)

SNS 新コーナーはじまりました！

みんな
おいしい！！

F.A. フードアレルギー キッチン



日本ハム食の未来財団や環境再生保全機構のレシピを参考に、食物アレルギーのない4人の男の子のお母さんと食物アレルギーについて知りたい学生さんが様々なアレルギーレシピにチャレンジする「FAキッチン」が、ピアサポートF.A.cafe公式SNSでスタートしました。

手軽に作れるものから少し凝ったものまで感想や味をご紹介します。

ぜひSNSをチェックしてくださいね。

